

とままえ



風かおる
人が輝き
躍動するまち



まちひと百景

「くま獅子カッター！」

2月5日(火)に苫前小学校で開催された学社融合事業「くま獅子体験」でのひとコマ。

くま獅子で使用する笛の体験では、縦笛とは違い横笛になかなか音が出ず悪戦苦闘。音が出た児童には「おっ」と声が出た。

一番の盛り上がりはくま獅子頭の体験。頭を箱から出したときは「カッター(カッコいいの現代版の言い方)」「くま獅子やってみたい」と大好評。もしかしたら苫前小学校でくま獅子復活か？

- 元ジャンプ選手の金子さん講演会ほか… 2
- 地域づくりセミナーが本町で開催ほか… 3
- グループホーム説明会ほか… 4
- 学社融合事業「凧づくり」ほか… 5
- 国民年金・文芸… 6
- 介護保険ガイド… 7
- 健康ばんざい… 8
- 学びの広場… 9
- 住まいる情報… 10～11
- ちびっこギャラリー… 12

まちの人口

人口/3,524人 (男/1,664人:女/1,860人)
世帯数/1,635世帯 (2月28日現在)

試練は呼びかけ ～元スキージャンプ選手の金子祐介さん講演会を苫前中学校で開催～

1月29日(火)に苫前中学校(外山一正校長)で元スキージャンプ選手の金子祐介さんの講演会が全校生徒43名を対象に開催された。

これは北海道道徳教育推進校事業として開催され、夢や希望を持って過ごすことの大切さを学ぶことを目的に行われたもの。

金子さんは、大倉山ジャンプ台のバッケンレコードを更新するなどの活躍からトリノオリンピックの出場とメダルが期待されていたが、フィニッシュ合宿を行った際の練習で着地の際に、スキー板が外れ顔を強打、脳挫傷などにより一時心肺停止となるが、婚約者の支えや自身のスキーにかける情熱で奇跡的に復活を果たした。

生徒にジャンプを始めたきっかけや事故、入院の様子などを伝えた。

その中で「皆さんは中学生ということで人生は長い。夢や希望を持つことで自分の進むべき道がはっきり見える。それらはすぐに叶うものではないため、少しずつでも進むことが大切。そしてその中で出会う人たちのつながりが非常に重要となる」と伝えた。また、「人生には必ず大きなカベにぶつかることがある。



る。そのカベが自分にとってどのような意味があるのかを自身に問いかけることが必要。そして、それが何を呼びかけているのかを考え、自分にとってその試練が必要なことと考え、自身を変えるきっかけとして前向きにとらえよう」と生徒たちにエールを送った。

生徒を代表して生徒会長で同校2年の川村茉以さんが「貴重なお話を聞くことができ大変よかったです。努力することや前向きな心で取り組んでいくことの大切さを学んだので、これからの学校生活に活かしていきたい」と感謝の言葉を述べた。

柳家さん喬が聴かせる！林家二楽が見せる！ ～とままえ落語会～

まず、さん喬師匠による「浮世床」「粗忽の釘」の2席、中入りの後に二楽師匠による紙工術、そしてシメはさん喬師匠による「子別れ」を披露した。

二楽師匠の紙工術では、体を揺らしながらのパフォーマンスで、会場からのリクエストにも応え、見事なハサミさばきを見せた。一方、さん喬師匠の「子別れ」は、夫婦と親子の愛情、家族の絆を考えさせられる人情噺。来場者をしつとり聴かせ、終演後大きな拍手に包まれていた。

1月31日(木)に苫前町公民館で町舞台鑑賞友の会(松岡満雄会長)らが主催のとままえ落語会が約80名の来場で開催された。

出演は、この時期にお馴染みとなった柳家さん喬師匠とゲストとして林家二楽師匠。



自分の中のオニ。出ていけ！ ～町内保育園(所)で豆まき～



2月1日(金)に町内の保育園(所)で豆まきが行われた。古丹別保育園(川森のり子所長)では、最初にそれぞれ人の心の中には「なまけオニ」「泣き虫オニ」など様々なオニがいて悪さをしているの、豆をまいて自分の中のオニを外に出そうという豆まきについてのDVDを鑑賞した後、赤組、桃組などの園児に豆をまいて自分の中にあるオニを外に出した。

そのあとは、かわいらしいオニの登場に、年長組は果敢に豆をぶつけていたが、赤組、黄組などの年少組の園児は、豆もまくことができず先生の腕につかまって泣いていた。

やがてオニが降参し、着ぐるみの中から川森所長が出るど安心したようで、配られた

古丹別保育園とは違いリアルでオニそのものの面を付けた職員2名が現れると、先程話をしてくれた人ということを忘れ、泣きながら先生の後に隠れたり、驚きのあまり固まってしまいう子どももいたが、勇敢な年長組園児が馬乗りになりオニが退治されると、安心したのか泣いていた園児たちもホッとした表情を浮かべていた。

「火遊びはしません」と宣言したあとは、オニと仲よく記念写真を撮っていた。

お菓子をそれぞれの組ごとに美味しそうに食べていた。

また、苫前保育園青木久美子園長では、最初にオニに扮する北留消防組合苫前支署職員が紹介され、火遊びをしないよう注意喚起した後、豆まきが行われた。



地域づくりセミナーが本町で開催！～森町長も再生可能エネルギーについて講演～



留萌開発建設部、NPO法人マリンネットワーク主催の地域づくりセミナーが2月1日(金)にとままえ温泉ふわつとで開催され、町内外より約100名の参加があった。

テーマが「サステーナブル(持続可能)な地域をいま考える」として環境をキーワードに講演が行われた。北海道大学総長の佐伯浩さんは「これからの北海道を考える」として北海道には様々なビジネスチャンスが埋もれていると基調講演を行った。

地元からは森町長が講師として「北海道の再生可能エネルギーが生み出すもの」と題して風力発電もたらす各産業との結びつきから生まれる振興策について講演した。

とままえ冬の大運動会兼苫前町民スキー大会が14年ぶりに開催

チャレンジの部

部 門	氏 名	所 属	記録	部門賞
小学1年女子	猪股 真央	苫前SS	26" 90	
小学2年男子	吉村 玲亮	苫前小	14" 66	部門総合
小学2年女子	下田ひより	苫前SS	19" 77	
小学3年女子	野村 心優	古丹別小	18" 88	
小学4年男子	鈴木 一真	古丹別小	19" 49	

頂上の部

部 門	氏 名	所 属	記録	部門賞
小学2年男子	鈴木 恋斗	古丹別SS	26" 31	
小学3年男子	島田宗一郎	苫前SS	22" 84	
小学3年女子	横野 瑞希	苫前SS	24" 52	
小学4年男子	金子慎太郎	苫前SS	23" 65	
小学5年男子	佐藤 陽来	苫前SS	22" 48	
小学6年男子	横野 稜平	苫前SS	18" 10	MVP
中学生男子	鈴木 愛斗	古丹別中	19" 87	
一般女子	渡部江利子	古丹別	25" 81	
一般男子	加藤 隆雄	古丹別	19" 45	

スノーボードの部

部 門	氏 名	所 属	記録	部門賞
小学5年男子	西 志尚	古丹別小	15" 76	
中学生男子	鈴木 愛斗	古丹別中	13" 57	部門総合
一般女子	野村 美樹	古丹別	16" 47	

スレッドリレーの部

部 門	チーム名	氏 名
小学2年生	2S JUMP	檜森 快・安藤千佐都
小学3年生	さっちゃんとうかいな仲間たち	前川咲弥花・渡部 桜乙
中学生	古中野球部チームA	石川 諒・鴨田 祥宏
団体(女子)	苫前SSママさん	島田 香織・横野 美香 小畑 京子・猪股 祥子

2月3日(日)に古丹別緑ヶ丘スキー場においてとままえ冬の大運動会兼苫前町民スキー大会が町体育協会(平田日出男会長)と苫前スキー連盟(平田日出男会長)の主催で開催された。

以前、苫前町民スキー大会が開催されていたが、参加者の減少により平成11年より実施していなかったため、今回14年ぶりに開催されることとなった。

この日は低気圧の影響で前日から強い風が吹き、降雪はさほどでもないが、これまで積もっていた雪を伴う地吹雪がときおり吹き付けるコンディションの中開催された。



競技はスキー場中腹よりスタートするチャレンジの部と頂上の部、スノーボードの部、スレッドリレーの部の4部門で学年別に実施された。結果は左のとおり(各1位のみ掲載)

とままえ食材をつかった料理教室～JA苫前町女性部フレッシュミズ部会～



2月4日(月)に公民館でJA苫前町女性部フレッシュミズ部会(柴田桂子会長)の12名がとままえ食材をつかった料理教室を開催した。

地元の食材の良さを知ること、料理のレパートリーを増やすことを目的に実施した教室では、町保健福祉課の駒井紅美栄養士が講師となり、地元食材のかぼちゃ、じゃがいも、小麦粉の春よ恋、タコなどを使って野菜のニョッキやこのマリネサラダなど4品を作った。

参加者はみな主婦であるため、材料切り、焼きなどの工程は手際よくこなしていた。

完成したあとは全員で試食、地元食材の良さを下で感じるとともに、料理のでき映えに満足していたようだ。

くま獅子舞はカッコイイ～学社融合事業「くま獅子体験」を苫前小学校で開催～

2月5日(火)に苫前小学校(岩村直幸校長)の3年生15名が本町の無形文化財第1号になっている「くま獅子舞」を体験した。

町くま獅子保存会は、平成9年に少年団を結成、活動を行っていたが、その少年団も平成19年に休団している。

同保存会の川森光治さんが講師となり、くま獅子の説明や少年団が町民文化祭に出演した際のビデオを鑑賞した後、横笛や獅子舞の熊頭に入ってみるなどの体験を行った。

体験した児童からは「カッコイイ」「やってみたい」という声があがり、反応は上々だった。児童を代表して佐井椋成くんからは「笛や熊頭の体験をありがとうございます。次の勉強でくま獅子についてまとめます」とお礼を述べた。



グループホーム「優芽」に係る説明会が公民館で開催



「対象が認知症の方ということで、個人の生活習慣にあわせて対応していくが、人にやさしく、笑顔で思いやりをもってお世話させていただきたい」と述べた。

管理者の藤田守芳さんは「グループホーム優芽は認知症高齢者専門のグループホームでユニット（共同生活住居）定員が9名、施設内には談話室もあり、入所者と面会できるスペースもある。」

グループホームとは、病気や障害などにより通常の生活を送ることが困難になった人が、専門職員などの援助を受けながら、少人数が住宅等で生活する介護施設。

古丹別市街に建設中のグループホーム優芽（株式会社大地、菊池千加子理事長）に係る説明会が2月8日（金）に公民館で町内の住民等約20名が参加して開催された。

今年は大漁に、今年も安全に～大漁祈願祭・船霊祭～

「昨年はホタテの出荷が好調だったため、売上が計画を上回った。東北の復興が進むことで更なる半成員の出荷が増えるため、期待したい。本年も目標額の達成に向け、漁業に専心してほしい」と述べ、組合員や組合関係者に奮起を促した。

祭事では祝詞奏上、玉串奉てんを行い、今年の大漁と操業の安全を祈願した。小野執行委員長は挨拶で

2月10日（日）に苫前漁業連合部会（成田太部会長）と大漁祈願祭執行委員会（小野善市執行委員長）主催の船霊祭と大漁祈願祭がとま



耳の不自由な方に伝えるために～学社融合事業「手話体験」～



その後、お金や山、小バナナなど簡単な単語の手話を教わり、児童等も五十嵐さんの手話を見よう見まねで体験していた。

「みんなは自分の話す声が聞こえるけど、聴覚に障害を持つ方は自分の声が聞こえないため、自分の音量がわからない」という説明に、児童らは驚いていた。

手話体験を通して、聴覚に障害がある人の生活や願

2月12日（火）に苫前小学校（岩村直幸校長）3年生15名を対象とした学社融合事業「手話体験」が開催された。

講師は羽幌町で手話通訳士の五十嵐明子さんが務めた。

牛乳・乳製品を使って親子でクッキング！～公民館講座「親子でクッキング」～

「作る楽しさ、食の大切さ、美味しさの発見」を通して親子や他の家族とのふれあいの時間を作るきっかけづくりとともに、子どもの成長に欠かすことができない乳製品について理解を深めることを目的に、雪印メグミルク北海道総括支店の伊澤さおり食育担当管理栄養士を招き、簡単手づくりピザやレアヨーグルトケーキなど3品を作った。

親子や友達同士でグループとなり、材料切りやピザ生地づくりなど行い、ふれあいを深めていたようだった。

2月16日（土）に公民館で公民館講座「親子でクッキング」が開催、親子あわせて13組30名が、牛乳・乳製品を使った料理にチャレンジした。

「作る楽しさ、食の大切さ、美味しさの発見」を通して親子や他の家族とのふれあいの時間を作るきっかけづくりとともに、子どもの成長に欠かすことができない乳製品について理解を深めることを目的に、雪印メグミルク北海道総括支店の伊澤さおり食育担当管理栄養士を招き、簡単手づくりピザやレアヨーグルトケーキなど3品を作った。



製品情報

TDK社製のスチーム式加湿器を探しています

右記加湿器の4機種については、発煙・発火の危険性があり、重大事故も発生しています。

これまででもご使用中止のお願いをしていますが、平成25年1月末現在で35,840台が依然として回収できていません。

該当製品をお持ちの方がいましたら、下記のフリーダイヤルへ連絡をお願いします。

TDK株式会社
(加湿器お客様係)
0120-604-777

受付時間
午前9時～午後7時
(土・日・祝日も含む)



凧あげ大会にむけて ～古丹別小学校2年生が学社融合事業「凧づくり」～

凧あげ大会を数日後に控えた2月19日(火)に、古丹別小学校高谷典義校長2年生19名が学社融合事業「凧づくり」を体験した。苦前凧の会の運上英彦さんと合田義春さんが講師となり、4つに分かれたグループを回って指導を行った。ビニール製の六角凧には、アニメのキャラクターや干支のへび、風車など様々な模様が描かれていたが、児童らはあらかじめ両面テープの付けられた骨をビニールに貼り付けたり、糸を結んだりする作業に「運上さん、わからないので来てください」「合田さん、どのようにすればよいですか」と悪戦苦闘。両講師も休む間もなく、児童の指導にあたっていた。



北海道産業貢献賞（農業関係功労者）受賞！ ～町農業委員会の永田紀男会長～



苦前町農業委員会の永田紀男会長(苦前町字旭在住)が農業委員会役員として多年にわたる貢献が認められ、北海道産業貢献賞の農業委員会等功労者として、2月8日(金)に札幌市で開催された表彰式に出席した。永田さんは平成2年より町農業委員に初当選、8期に渡り活動され、平成16年から同委員会の会長として農業者の地位向上や生活の安定などに務められた。また、平成20年からは留萌地方農業委員会連合会長、北海道農業会議常任会議員に就任するなど、町内はもとより留萌管内、道内農地の有効利用と農業経営基盤の確立に尽力された功績が認められたことにより、今回の表彰となったもの。

地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました

古丹別小学校前の排雪 ～堀松建設工業株式会社～

堀松建設工業株式会社(堀松一郎代表取締役社長)が古丹別小学校前の排雪を2月23日(土)に地域社会貢献事業で実施した。

同校では2月25日(月)に地域参観日が控えており、校舎前には山のように積み上げられた雪により、来校された方の駐車スペースが確保できず苦慮していましたが、申し出のお陰で雪も取り除かれ、地域参観日当日も多くの方が来校され、児童等の授業を見学することができました。ありがとうございました。



凧あげ大会会場の整備

～ハラダ工業株式会社苦前支店・有限会社大川商店～

ハラダ工業株式会社苦前支店(滝本和浩取締役苦前支店長)と有限会社大川商店(大川紀美子代表取締役)が2月22日(金)に北海道凧あげ大会の会場となるとままえ温泉ふわっと周辺の排雪・圧雪などの整備を地域社会貢献事業で実施した。

毎年、2千人ほどの来場者が集まる会場周辺も例年より雪が多く、駐車場や売店のスペース確保に苦慮していましたが、申し出のお陰で雪も取り除かれたお陰もあり、イベントも盛会のうちに終了することができました。

ありがとうございました。



凧あげ会場付近滑り止め用砂まき ～株式会社東北建設～

株式会社東北建設(菊池浩代表取締役)が北海道凧あげ大会の当日2月24日(日)に、会場となるとままえ温泉ふわっと周辺の国道や町道への滑り止め用の砂まきを地域社会貢献事業で実施した。

大会当日は天候が良かったものの、寒さもあって道路も滑りやすい状況となっていました。事前の砂まきのお陰で車両や歩行者の転倒などの事故もなく、無事に大会を終了することができました。

ありがとうございました。



マイプランをしっかりと国民年金 「ねんきん定期便の節目年齢が変わります」



日本年金機構では、毎年、国民一人ひとりに年金加入記録を確認するとともに、年金制度に対する理解を深めることを目的として「ねんきん定期便」を送付しています。

「ねんきん定期便」は、通常はハガキで送付されています。

しかし、35歳、45歳および58歳の年齢は、年金の受給に必要となる加入期間を確保するための節目となる年齢であること、また年金の請求を間近に控えている年齢であることから、節目年齢と位置づけられ、これらの年齢の人には封書で「ねんきん定期便」が送付されています。

年金記録の整備に要する期間が短縮してきたことなどから、平成25年度以後はこの節目年齢のうち58歳が59歳に変更されます。

「ねんきん定期便」の概要

35歳、45歳および58歳の節目年齢以外の人には、ハガキの「ねんきん定期便」が送付され、次のような内容が記載されています。

- 50歳未満の人
 - ・これまでの年金加入期間
 - ・これまでの加入実績に応じた

年金額

- ・これまでの保険料納付額
- ・最近の月別状況

●50歳以上の人

- ・これまでの年金加入期間
- ・老齢年金の見込額
- ・これまでの保険料納付額
- ・最近の月別状況

※すでに年金を受給している人には老齢年金の見込額は知らされていません。

一方、35歳、45歳および58歳の節目年齢の人には、封書による「ねんきん定期便」が送付され、次のような内容が記載されています。

●35歳・45歳の人

- ・これまでの年金加入期間
- ・これまでの加入実績に応じた年金額

●58歳の人

- ・これまでの年金加入期間
- ・老齢年金の見込額
- ・これまでの保険料納付額
- ・これまでの加入履歴
- ・厚生年金の標準報酬月額と保険料納付額の月別状況
- ・これまでの国民年金保険料の納付状況

保険料納付額の月別状況
・これまでの国民年金保険料の納付状況
封書の「ねんきん定期便」には、年金加入記録の確認方法などを詳しく記載したパンフレットや、年金加入記録に「もれ」や「誤り」があった場合に提出するための「年金加入記録回答票」が同封されています。

平成25年度中に58歳または59歳になる人
●昭和29年4月2日～昭和30年4月1日生まれの人
平成25年度中に59歳になる昭和29年4月2日から昭和30年4月1日までに生まれた人は、平成24年度中の誕生日である58歳時に封書の「ねんきん定期便」が送付されているため、平成25年中の誕生日には、封書ではなくハガキの「ねんきん定期便」が送付されます。

●昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれの人
平成26年度中に59歳になる昭和30年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれた人は、平成26年度中の誕生日に封書の「ねんきん定期便」が送付されます。

保育園(所)・学校へ安全に通えるように ～苫前婦人会のマスコットづくり～

町内の保育園(所)や小学校に入園・入学する子ども達が事故なく安全で元気に通えるよう「無事カエル」の思いを込めたカエルのマスコットづくりを苫前婦人会(小野章子会長)が福祉センターで行っている。

これは毎年行われているもので、今年は2月12日(火)から作業を行い、約1週間かけ、200個を製作している。

2月20日(水)の作業では、あいにくの天候の中、カゼの流行などで5名しか集まらなかったが、一つひとつ思いを込めながら手縫いで作られていた。

今後は神社で安全祈願された後、保育園(所)や学校を通じて配布される予定。



「文芸」

川柳

苫前川柳社

思い出を胸に重ねた年の数
一年の狭間を埋める年賀状
芋南瓜主食に育ち八十路行く
故郷の香りを常に胸に秘め
米寿過ぎ仏に感謝日々過ぎし

- 苫前 小島信子
- 苫前 齊数範章
- 留萌市 芳賀敏美
- 札幌市 関武
- 苫前 鎌田信夫

(文責・鎌田)